

湿地と気候変動

湿地：気候変動に対応する鍵

- 湿地、それは気候変動対策の鍵となる大切な陸上生態系。湿地は大気中の二酸化炭素(CO₂)を吸収し、土壌とバイオマスに蓄えることで、**気候変動の影響を軽減**します。
- マングローブなどの沿岸湿地は、熱帯雨林より早いスピード(55倍！)で**炭素を隔離**します。
- 地球の陸地面積の3%を占める泥炭地が、**土壌炭素の30%を貯蔵**しています。
- 気温上昇による干ばつなど、気候変動は湿地に大きな影響を与えています。気候変動の影響を緩和し、**豊かな生態系サービスを提供してくれる湿地**。湿地が劣化すれば、気候変動の影響はさらに悪化します。
- 湿地が乾燥してしまうと、湿地は「炭素吸収源」から「炭素排出源」に変わってしまいます。湿地を**保全・再生し、「賢く」利用(ワイズユース)**することにより、CO₂の排出を防ぎ、隔離することができるのです。
- 様々な社会課題に対応するための**自然を活用した解決策(Nature-based Solutions: NbS)**として、「湿地の保全と再生」を政府等の気候変動対策などに積極的に組み込むことが大切です。
- パリ協定の「1.5℃目標」(世界全体の平均気温の上昇を産業革命以前と比べて、少なくとも2℃未満に抑える)を達成するために、2030年までに**失われた泥炭地の50%を回復**する必要があります。



1971年2月2日に「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(ラムサール条約)」が採択されたことを記念し、条約事務局は、1996年に「世界湿地の日」を定めました。湿地の保全とワイズユース(賢明な利用)をさらに促進するため、2021年8月、国連総会は、この日を国連の定める「世界湿地の日」と決定しました。

日本語版作成：環境省自然環境局野生生物課

#ActForWetlands – www.worldwetlandsday.org



世界湿地の日

2025年2月2日

湿地を守ろう
わたしたちの未来のために



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。